

2025年6月3日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行株式会社
株式会社講談社
株式会社クレデウス

Japan Creative Works1号投資事業有限責任組合の設立と 金融とエンターテインメントを融合させた新たな提携事業について

今般、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規、以下 MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下 三菱UFJ銀行）、三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 窪田 博、以下 三菱UFJ信託銀行）、株式会社講談社（代表取締役社長 野間 省伸、以下 講談社）と株式会社クレデウス（代表取締役 CEO 松橋 真三、以下 クレデウス）は、日本のエンターテインメント（以下、エンタメ）作品の創出を目的とした新たな取り組みを開始したことをお知らせします。

本取り組みは金融企業と日本のエンタメ企業が一体となった本邦初のものであり、日本が世界に誇るエンタメ作品の創出における新たな資金調達方法を構築するとともに、日本の才能溢れるクリエイター達が創出した高品質なエンタメ作品を世界中のファンに届けることを目的としています。本取り組みにより、日本のエンタメ業界が未来へ飛躍するための作品創出に対する選択肢の1つとなることを目指します。

◆背景

日本のエンタメ作品は、今や世界中にファンを有するものとなっており、2023年の海外売上は昨年比128%の5兆7,769億円まで拡大したとも試算されています（株式会社ヒューマンメディアによる調査）。この成果は日本のクリエイター達が多様な作品を長年に亘り創出してきたモノづくりの結果であり、特に海外の政府系ファンドからは投資対象の1ジャンルとして大変興味を持たれていると言われています。

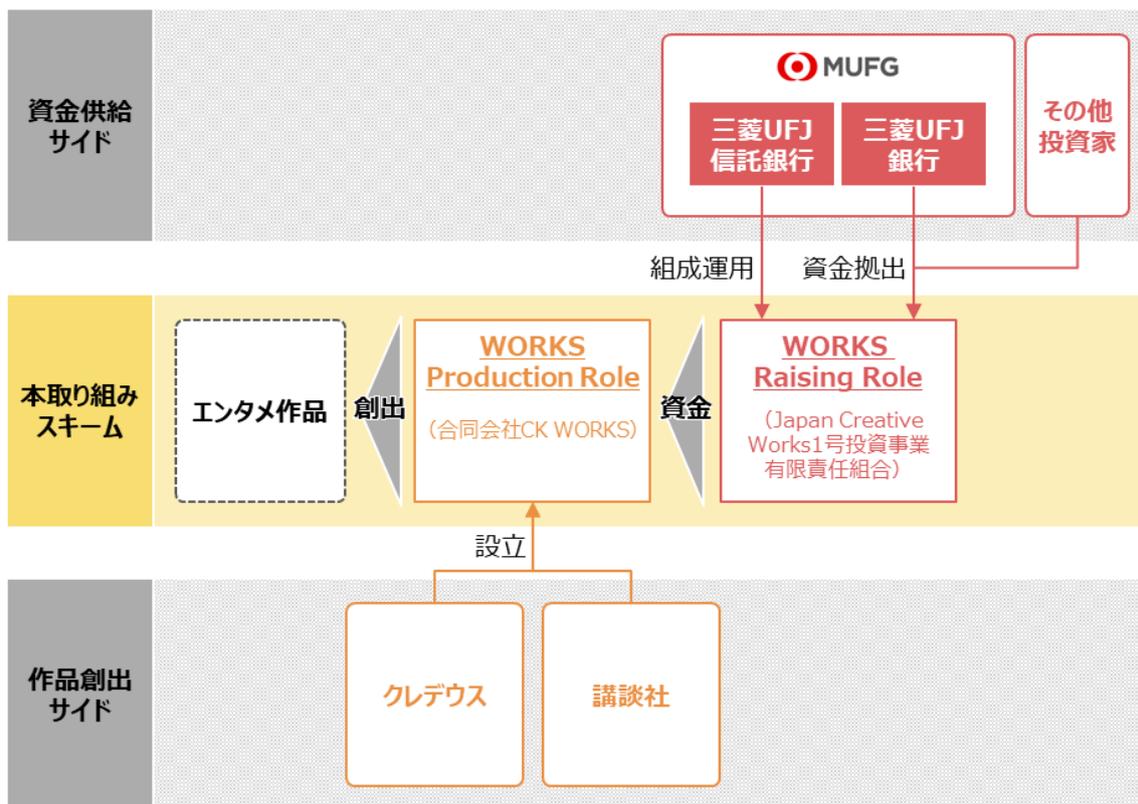
一方、デジタル社会においては、あらゆる産業が国の垣根を超えたボーダーレスの競争になっており、エンタメ産業においても例外ではありません。諸外国では国や大手企業からの巨額な資金提供を受けたエンタメ企業が急速に台頭しており、彼らが製作した作品と日本の作品が競争していくには、従来の取り組み方法に加えて新たな資金調達方法やビジネスモデルが必要な状況となっています。日本が世界でプレゼンスを発揮する有望な産業の一つとして、グローバル競争に確実に勝ち抜いていくために、業界の垣根を超えた新しい連携の構築が重要となります。

◆本取り組みの概要

MUFG、講談社、クレデウスがそれぞれの強みを活かし、新しいエンタメ作品創出の仕組みとビジネスモデルを構築することを目指します。

本取り組みでは、世界トップレベルの高品質な作品創出の役割を WORKS Production Role（講談社、クレデウスが設立した合同会社 CK WORKS）が担い、エンタメ作品創出のための資金調達・資金提供を WORKS Raising Role（MUFG 傘下の三菱 UFJ 信託銀行が組成・運用、三菱 UFJ 銀行、その他投資家が出資した Japan Creative Works1 号投資事業有限責任組合）が担います。

（取り組みの概要図）



◆本取り組みの特徴

本取り組みの WORKS Raising Role における特徴は、講談社が出版している著作物を原作とした一つの劇場公開実写映画（シリーズ作品）に対して全資金を拠出するという点と、GK-TK スキーム（合同会社と匿名組合を組み合わせた投資スキーム）による映画制作資金の活用について透明性を持った投資管理が可能となる点があります。

一方で WORKS Production Role における特徴は、シリーズ第 1 作の制作開始時点から纏まった資金を獲得できるため、大規模な制作予算を基にシリーズ化を前提とした映画制作とビジネスを行うことが可能となり、旬を逃すことなくファンに作品を届けることが可能となります。また、今回の試みとしてクリエイター等に対して、成功した際の報酬還元を設定することを予定しています。

本取り組みは、金融業界、エンタメ業界ともに前例のない規模、およびスキームであり、MUFG 傘下の三菱 UFJ 銀行・三菱 UFJ 信託銀行、講談社、クレデウスが共通目的を持って連携することで実現したものです。金融とエンターテインメントの融合によって新たな価値の創造を目指します。

◆各社コメント

【MUFG 代表執行役社長 亀澤 宏規】

MUFGは「世界が進むチカラになる。」をパーパスとして掲げ、広範なネットワークと多様なソリューションを活用し、「つなぐ」力を最大限に発揮することで、その実現に取り組んでいます。日本のエンタメ産業は、「漫画・映像作品・ゲーム」等のコンテンツを創出し、それぞれが連鎖的に価値を高め合う世界でも稀に見る独自のエコシステムを通じて、高い競争優位性を獲得しています。その結果、グローバルにファンを有し、次代の日本経済を牽引する産業へと成長することが期待されています。

MUFGは、金融の枠を超えた新たな価値提供を目指す新たな挑戦として本件に取り組み、日本の才能あるクリエイターが魅力的なコンテンツを持続的に創造し、その作品を途切れることなく世界につなぐことで、日本のエンタメ産業の次なる飛躍に貢献してまいります。

【講談社 代表取締役社長 野間 省伸】

講談社は「Inspire Impossible Stories (おもしろくて、ためになる)」を企業理念として、時代や国境を越えて届く「物語」の力を信じ、あらゆるクリエイターと共に歩んで参りました。新たな発見や創造性をうながし (Inspire)、あり得ない、見たことのない (Impossible) 物語 (Stories) を世界中の人々に最良のかたちで届けられるように努めることが、私たちの使命です。

今回の取り組みは著作者のご協力もいただき、金融×エンタメという異なる分野の力を結集したことで、潤沢な制作予算を誇る海外作品との競争にも勝ち抜くことができる手段の一つになり得る試みと考えています。

講談社は今後もコンテンツ産業の未来を切り開く新たな取り組みに挑み続けて参ります。

【クレデウス 代表取締役 CEO 松橋 真三】

日本の物語文化は、世界に類を見ない素晴らしいものです。独創性溢れる漫画やアニメは世界中にファンがいますし、小説や実写映像においても、その美しい言葉運びやストーリーテリングの随所に日本の魂が息づいています。

近代のグローバル化がエンタメ界にもたらした恩恵は劇的なもので、あらゆる国の作品に誰もがいつでも触れられるようになりました。それが我が国のクリエイター達に大きな影響をもたらし、他国のトップクリエイター達もまた日本のコンテンツに刺激を受けて新たな作品が生み出されてきました。

制作プロダクションである我々CREDEUSには、目覚ましい速さで進むこの創造的な化学反応の連鎖の受け皿となる責任があります。

ハリウッドや韓国は巨費を投じて最新映像技術を追求し、高品質な作品を次々と作っていて、日本がマーケット規模を言い訳に制作予算を抑えては世界に取り残されてしまう時代となりました。日本の物語で良い作品を作れば必ず世界に通用する——そう信じて、『キングダム』、『ゴールデンカムイ』、『沈黙の艦隊』などの大規模シリーズを制作したりと向こう見ずな挑戦をしてきました。これらの作品では良き製作パートナーに恵まれましたが、それでもなお、資金調達や次回作の承認プロセスの難には常に頭を悩ませてきました。

このたびの取組は、日本エンタメ界に新風を吹き込むことになるだろうと思っています。作品が世界にしっかりと届き、それを作ったクリエイター達が敬われ、さらには、日本の映像制作産

業が永続的に繁栄し、この国の未来を支える大きな収益源となって子どもたちに受け継がれていくことを願って。そのための大きな一歩を、新たなパートナーの皆さまと共に踏み出せることにとてもワクワクしています。

◆企業情報

【三菱 UFJ フィナンシャル・グループの概要】

企業名	株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
代表者	代表執行役社長 亀澤 宏規
設立日	2001 年 4 月
所在地	東京都千代田区丸の内 1-4-5
資本金	2兆1,415億円
公式サイト	https://www.mufg.jp/

【三菱 UFJ 銀行の概要】

企業名	株式会社三菱 UFJ 銀行
代表者	取締役頭取執行役員 半沢 淳一
設立日	1919 年 8 月
所在地	東京都千代田区丸の内 1-4-5
資本金	1 兆 7,119 億円
公式サイト	https://www.bk.mufg.jp/

【三菱 UFJ 信託銀行の概要】

企業名	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
代表者	取締役社長 窪田 博
設立日	1927 年 3 月
所在地	東京都千代田区丸の内 1-4-5
資本金	3,242 億円
公式サイト	https://www.tr.mufg.jp/

【講談社の概要】

企業名	株式会社講談社
代表者	代表取締役社長 野間 省伸
設立日	1909 年 11 月
所在地	東京都文京区音羽 2-12-21
資本金	3億円
公式サイト	https://www.kodansha.co.jp/

【クレデウスの概要】

企業名	株式会社クレデウス
代表者	代表取締役 CEO 松橋 真三
設立日	2021年9月（分社新設）
所在地	東京都目黒区大橋 2-16-29 クレデウス第1ビル
資本金	1,000万円
公式サイト	https://www.credeus.com/

◆クレデウス制作作品の実績

（実写映画による国内年間興行収入ランキング）

公開年	作品名	興行収入	年間順位（実写）
2024年（令和6年）	キングダム 大將軍の帰還	80.3億円	1位
2023年（令和5年）	キングダム 運命の炎	56.0億円	2位
2022年（令和4年）	キングダム2 遥かなる大地へ	51.6億円	1位
2021年（令和3年）	新解釈・三国志	40.3億円	4位
2020年（令和2年）	今日から俺は!!劇場版	53.7億円	1位
2019年（令和元年）	キングダム	57.3億円	1位
2018年（平成30年）	銀魂2 掟は破るためにこそある	37.0億円	3位
2017年（平成29年）	銀魂	38.4億円	1位

* 一般社団法人日本映画製作者連盟より

◆Japan Creative Works1 号投資事業有限責任組合（以下「本ファンド」）の概要

名称	Japan Creative Works1 号投資事業有限責任組合
運用者	三菱 UFJ 信託銀行
投資対象	講談社が出版している著作物を原作とした特定の劇場公開実写映画（シリーズ作品）の製作事業を目的とした合同会社 CK WORKS に対する匿名組合出資持分
ファンド規模	非開示
ファンド期間	約 6 年 10 ヶ月（最大 4 年延長）
有限責任組員	三菱 UFJ 銀行（約 66 億円）、その他投資家

本邦のメガバンクグループである MUFG の傘下企業である三菱 UFJ 信託銀行が運用するとともに、三菱 UFJ 銀行が投資も実行しております。金融機関、映像制作会社、著作者、出版社がタッグになり取り組み、映画制作関係者への報酬還元と投資家へのリターンの両立を目指したファンド設計としております。また、MUFG は現役で活躍するクリエイターをアドバイザーとして招聘^[1]しており、従来の金融機関が持ちえないエンタメビジネスにおける知見を活用した取り組みになっています。

一般的に目利きが難しいとされるエンタメ作品に対し、不動産やプライベート・エクイティといった既存のオルタナティブ投資アセットと遜色のないリターンを投資家が期待できることを目指しております。また、GK-TK スキームによる映画制作資金の活用によって、透明性を持った投資管理を期待することも可能となっています。

[1] 株式会社メイドインヘブン代表取締役社長の渡部辰城氏をアドバイザーとして招聘（同氏経歴：1999 年、株式会社エニックス（現スクウェア・エニックス）入社。ゲームプロデューサーとしてドラゴンクエストシリーズを担当。2011 年、株式会社ディー・エヌ・エーに入社。ゲーム事業本部にて執行役員事業本部長に従事。現在は独立し株式会社メイドインヘブン代表取締役社長として、ゲーム開発や映像作品の制作を手掛ける。直近の代表作は、Netflix オリジナルドラマ「今際の国のアリス」脚本など。）

以 上